



四季が描かれた室町時代のやまと絵屏風、
豊かな下絵が施された連歌懐紙と
連歌にまつわる諸作品を通じて、
「室町どころ」の風景を展望。

特別展

室町どころの風景

―光り輝く四季と連歌懐紙の美―

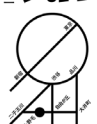
二〇二六年

十月二十七日火―十二月六日日

●主催 公益財団法人五島美術館・日本経済新聞社
●協賛 東急グループ
●休館日 毎月曜日（十一月二十三日は開館）十一月二十日（火）
●開館時間 午前十時―午後五時（入館は午後四時三十分まで）
●入館料 一般一〇〇円／高・大学生二〇円／中学生以下無料
●お問い合わせ（観覧会のご案内）ハローダイヤル〇五〇五五四一八六〇〇



五島美術館



Unfoldings: Linking Verse and Picture in Medieval Japan
27th October through 6th December 2026.
Closed every Monday (23rd November open) and 24th November.
Museum hours 10:00A.M.-5:00P.M. Five minutes walk from Kaminoge station, Tokyo Ōtsuchi line.
THE GOTOH MUSEUM URL=https://www.gotoh-museum.or.jp/

重要文化財 源頼朝時局（左巻部分） 東京国立博物館蔵
Image: TSM Image Archives

美しい時代へ―東急グループ

PRESS
RELEASE

室町時代のやまと絵屏風に描かれた四季や景物のモチーフは、中世の料紙装飾、そして室町時代に大流行した連歌を記した連歌懐紙にも見られます。なかでも下絵が施された連歌懐紙には四季や景物が、ときに句と響き合うように金銀泥で描かれており、室町時代における文藝と美術の交差の一端がうかがえます。

連歌は、和歌の上の句（五・七・五）と下の句（七・七）を、個人の詠作ではなく別々のひとが詠み、つないでいく形式の文藝で、室町時代に最盛期を迎えました。複数人で集まり、即興で句を詠み継ぎながら全体として一つの作品をつくりあげる連歌の共同創作は、参加者の心を結び、人々は連想のように次々と展開されることばとイメージの変奏を楽しみました。

本展は、四季モチーフの宝庫とも言われる連歌懐紙の下絵に注目し、その魅力を探るこれまでにない展覧会です。同時代のやまと絵屏風、連歌にまつわる諸作品を通じて、「室町どころ」の風景を展望します。連歌を通して見えてくる室町文化と美術の一側面を紹介する契機となれば幸いです。

五島美術館

今回の展覧会のおすすめ作品

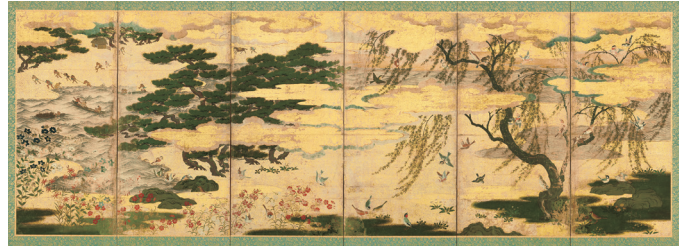


Image: TNM Image Archives

重要文化財 浜松図屏風

紙本着色／六曲一双 各縦106.0cm 横311.5cm
室町時代・15～16世紀 東京国立博物館蔵

浜松図は、やまと絵の画題の一つで海浜の景に松林を描いた絵です。本品は、色とりどりの四季の草花、60羽を超える小鳥、人々の生活の営みも描きこまれているところに特色があります。画面には雲母を掃き、小さな金の箔片を用いた装飾的効果によって、朗らかな明るさのある光景が広がります。特定の場所の実景というわけではなく、室町時代の人々の理想の景色を描いているのかもしれません。



重要文化財 大原野十花千句連歌(元龜二年二月五日～七日)
彩箋墨書／六帖(十一帖のうち) 各縦18.1cm 横49.9cm
室町時代・16世紀 京都・勝持寺蔵

細川幽斎、茶人・豪商の津田宗及、連歌師の紹巴らによって行われた連歌を書き記した懐紙です。金銀泥で四季のモチーフがとても華やかに描かれており、下絵がある連歌懐紙を代表する作品です。最初の句には必ず「花」を読み込むルールで行われた連歌で、懐紙にも桜の下絵が描かれています。さらに、二番目、三番目の句の内容に対応した下絵が描かれ、句と絵の響き合いが見どころです。※〈帖替予定〉写真=第五帖



©徳川美術館イメージアーカイブ/DNPpartcom

重要文化財 瀟湘八景 遠浦帰帆図 玉潤筆・同賛

紙本墨書・墨画／一幅 縦30.6cm 横77.0cm
南宋時代・13世紀 愛知・徳川美術館蔵

連歌の叙景句や心得について、水墨画や瀟湘八景を例に挙げて説明されることもありましたが、本品は、「東山御物」を代表する唐絵の名品の一つとして知られますが、足利將軍家から流出後、一時期、連歌師である宗長(1448～1532)が所持していたという伝来があります。連歌師と絵画の接点を示唆する作品です。※〈前期展示予定〉

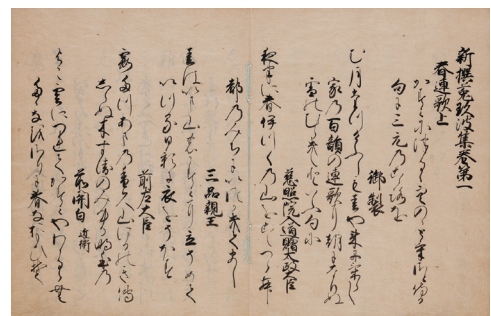


重要文化財 染田天神講連歌関係資料

室町時代・16世紀 奈良・染田自治会蔵
画像提供:奈良国立博物館

大和国山辺郡東山内の有力武士、多田順実(?～1408)は天神信仰に篤く、旅人より天神御影がもたらされたことをきっかけに天神講を結成しました。それから当地では約200年間、天神講による連歌奉納が行われていました。本品はその遺品です。人々が連歌を詠む背景にある天神信仰、用いた道具、講を維持するための約束事、地方連歌としての作例等、連歌を多角的に考えるうえで貴重な資料群です。

※資料のうち「大和国東山内染田天神縁起」は〈前期展示予定〉



新撰菟玖波集 序・巻一～五 三条西実隆筆

紙本墨書／一帖 縦23.8cm 横18.0cm
室町時代・15世紀 茨城・筑波大学附属図書館蔵

宗祇ら撰の准勅撰連歌集。明応4年(1495)成立。『新撰菟玖波集』の編纂事情は、三条西実隆の日記『実隆公記』によって知られています。実隆のほか、兼載、肖柏、宗長など、宗祇の弟子の連歌師らが編纂に関与しました。『実隆公記』明応8年(1499)6月8日の条に、宗祇の依頼で『新撰菟玖波集』を写した記事があり、本書と推定されています。成立から間もない時期の伝本として大変貴重です。

主な展示予定品（会期中一部展示替があります）

＊展示予定期間〈前期〉＝10月27日[火]－11月15日[日]／展示予定期間〈後期〉＝11月17日[火]－12月6日[日]

《第一章 光り輝く四季》

重要文化財	葉月物語絵巻 詞書 伝 後二条天皇筆	〈場面替予定〉鎌倉～南北朝時代・14世紀	愛知・徳川美術館蔵
重要文化財	西塔院勸学講法則 尊円法親王筆	〈巻替予定〉南北朝時代・貞和五年(1349)	愛知・徳川美術館蔵
朗詠詩集切	三条西実隆筆	〈前後期二幅ずつ展示予定〉室町時代・15～16世紀	個人蔵
重要文化財	住吉社法楽百首和歌短冊	〈帖替予定〉室町時代・15世紀	山口・住吉神社蔵
重要文化財	浜松図屏風	室町時代・15～16世紀	東京国立博物館蔵
重要文化財	浜松図屏風	室町時代・15～16世紀	国(文化庁)
重要文化財	日月松鶴図屏風	〈前期展示予定〉室町時代・16世紀	東京・三井記念美術館蔵
竹図屏風		〈半期展示予定〉江戸時代・17世紀	九州国立博物館蔵

《第二章 連歌懐紙の美》

愛知県指定文化財	法楽歌仙連歌(応永三十年十一月十三日)	室町時代・15世紀	愛知・熱田神宮蔵
愛知県指定文化財	賦何人連歌(永享四年九月十三日)	室町時代・15世紀	愛知・圓福寺蔵
重要文化財	北野社万句法楽連歌(永享九年三月二十一日)	〈半期展示予定〉室町時代・15世紀	京都・北野天満宮蔵
水無瀬三吟(長享二年一月二十二日)		〈半期展示予定〉室町時代・15世紀	奈良・天理大学附属天理図書館蔵
重要文化財	大原野十花千句連歌(元亀二年二月五日～七日)	〈帖替予定〉室町時代・16世紀	京都・勝持寺蔵
重要文化財	夢想之連歌	〈半期展示予定〉桃山時代・16世紀	京都・北野天満宮蔵
賦玉何連歌(天正十六年正月十九日)		桃山時代・16世紀	京都・同志社大学図書館蔵
懷旧之連歌(慶長四年三月六日)		〈半期展示予定〉桃山時代・16世紀	兵庫・公益財団法人柿衛文庫蔵
夢想之連歌		〈半期展示予定〉桃山時代・17世紀	福岡・太宰府天満宮蔵
懷旧之連歌(慶長十三年三月二十九日)		桃山時代・17世紀	五島美術館蔵

《特集 連歌と風景》

重要文化財	瀟湘八景 遠浦帰帆図 玉潤筆・同賛	〈前期展示予定〉南宋時代・13世紀	愛知・徳川美術館蔵
重要文化財	三保松原図 伝 能阿弥筆	〈後期展示予定〉室町時代・15世紀	兵庫県立美術館(額川コレクション)蔵

《第三章 連歌一人々をつなぐ文藝》

重要文化財	連歌懐紙	〈前期展示予定〉鎌倉～南北朝時代・14世紀	神奈川・称名寺蔵(神奈川県立金沢文庫保管)
重要文化財	染田天神講連歌関係資料	〈一部前期展示予定〉室町時代・16世紀	奈良・染田自治会蔵
重要文化財	慕帰絵 巻五	〈11月25日より展示予定〉南北朝時代・観応二年(1351)	京都・西本願寺蔵
二条良基像		江戸時代・18～19世紀	京都・同志社大学歴史資料館蔵
菟玖波集 卷第二十 伝 素眼筆		南北朝時代・14世紀	宮内庁書陵部蔵
重要文化財	宗祇坐像	〈後期展示予定〉室町時代・15世紀	千葉・国立歴史民俗博物館蔵
宗祇坐像		江戸時代・17世紀	大東急記念文庫蔵
三条西実隆像紙形 土佐光信画		〈後期展示予定〉室町時代・文亀元年(1501)	東京大学史料編纂所蔵
重要文化財	逍遙院実隆像 後奈良天皇賛	室町時代・16世紀	京都・二尊院蔵
重要文化財	実隆公記 三条西実隆筆	〈巻替予定〉室町時代・15世紀	東京大学史料編纂所蔵
宗祇書状		〈一部半期展示替予定〉室町時代・15世紀	東京・根津美術館蔵
長六文 宗祇筆		〈半期展示予定〉室町時代・15世紀	福岡・太宰府天満宮蔵
竹林抄		〈半期展示予定〉室町時代・16世紀	東京・早稲田大学図書館蔵
水無瀬三吟 伝 宗長筆		〈半期展示予定〉室町時代・15世紀	兵庫・公益財団法人柿衛文庫蔵
新撰菟玖波集		室町時代・15世紀	茨城・筑波大学附属図書館蔵
重要文化財	牡丹花肖柏像 常庵龍崇賛	〈後期展示予定〉室町時代・16世紀	東京国立博物館蔵

「特別展」室町ごろの風景 — 光り輝く四季と連歌懐紙の美 —

UNFOLDINGS: LINKING VERSE AND PICTURE IN MEDIEVAL JAPAN

2026年10月27日[火]—12月6日[日]

- 主催＝公益財団法人五島美術館・日本経済新聞社
- 協賛＝東急グループ
- 休館日＝毎月曜日(11月23日は開館)・11月24日[火]
- 開館時間＝午前10時—午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 入館料＝一般1400円／高・大学生1100円／中学生以下無料
- 交通＝東急大井町線(各駅停車)「上野毛駅」(かみのげ)下車徒歩5分

講演会 (事前申込制)

- 聴講には事前にお申込みが必要です。お申込みの受付は10月1日頃より当館のホームページにて開始いたします。
- 各日定員180名(自由席)。定員に達し次第締切となります。
- 会場＝五島美術館講堂／当日入館者聴講無料(要事前申込)

「北野天満宮の歴史と天神信仰」

東川楠彦氏(北野天満宮 禰宜)

11月3日[火・祝]午後2時より(受付・開場は午後1時)

「手紙からみる宗祇」

末柄 豊氏(東京大学史料編纂所教授)

11月21日[土]午後2時より(受付・開場は午後1時)

「室町絵画と連歌—連環する都鄙と風景」

高岸 輝氏(東京大学大学院人文社会系研究科教授)

11月29日[日]午後2時より(受付・開場は午後1時)

ギャラリートーク

当館学芸員によるスライドを交えた展示作品に関わる解説
五島美術館別館講堂 当日入館者聴講無料 椅子席180名先着順
当日の正午より受講整理券を配布します。

「連歌懐紙に描かれた四季」

11月19日[木]午後2時—3時頃(開場・受付は午後1時30分)

「連歌と人々」

11月26日[木]午後2時—3時頃(開場・受付は午後1時30分)

- 会期中一部展示替があります。また、当館には常設展示はございません。
- 展示替のため休館＝2026年12月7日[月]—12月18日[金]
- 次回展示＝[館蔵]茶道具具合せ展 2026年12月19日[土]—2027年2月7日[日]

三館合同キャンペーン

秋の三館

美をめぐる

2026

今秋も三井記念美術館・根津美術館・五島美術館では三館合同キャンペーンを行います。

🔍 秋の三館2026

キャンペーンの詳細はwebサイトをご覧ください。
<https://www.mitsui-museum.jp/biomeguru2026.html>

公益財団法人 五島美術館

〒158-8510 東京都世田谷区上野毛3-9-25 TEL 050-5541-8600(ハローダイヤル)

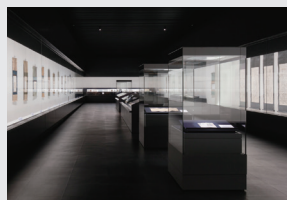
<https://www.gotoh-museum.or.jp/> (五島美術館ホームページ)

五島美術館 (ごとうびじゅつかん)

五島美術館は、東急の元会長五島慶太(ごとうけいた 1882～1959)が、半生をかけて収集した日本・東洋の古美術品を根幹に、1960年に開館しました。展示作品は展覧会ごとに変わり、コレクションから各分野の代表作品を紹介、特別展では毎回特色あるテーマを企画しています。2011年には大東急記念文庫と合併し、翌年4月1日より「公益財団法人五島美術館」として歩みを進めています。2017年、本館と庭園内の茶室「富士見亭」「古経楼」が、国の登録有形文化財(建造物)に登録されました。



本館・中庭 (photo by Shigeo Ogawa)



展示室1 (photo by Shigeo Ogawa)



展示室2 (photo by Shigeo Ogawa)

- 開館時間＝午前10時—午後5時(入館受付は午後4時30分まで)
- 展覧会と展覧会の間は展示替休館となります。
- 入館料には入園料を含みます。
- 障害者手帳をお持ちの方、ならびに介助者の方1名は200円引。
- 入園のみ(展覧会をご覧にならない場合)は1人300円(中学生以下無料)。
- 団体(20名以上1人1200円)は、受け入れを休止することがあります。

交通

東急大井町線(各駅停車)「上野毛駅」(かみのげ) 下車徒歩約5分

- 「渋谷駅」から
東急田園都市線→「二子玉川駅」→東急大井町線(各駅停車)→「上野毛駅」
東急東横線→「自由が丘駅」→東急大井町線(各駅停車)→「上野毛駅」
- 「東京駅」「品川駅」から
JR浜東北線→「大井町駅」→東急大井町線(各駅停車)→「上野毛駅」
- 「横浜駅」から
東急東横線→「自由が丘駅」→東急大井町線(各駅停車)→「上野毛駅」
- 「新横浜駅」から
東急新横浜線→「日吉駅」→東急東横線→「自由が丘駅」→東急大井町線(各駅停車)→「上野毛駅」

上野毛駅からの地図

